

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【公開番号】特開2003-284710(P2003-284710A)

【公開日】平成15年10月7日(2003.10.7)

【出願番号】特願2003-60744(P2003-60744)

【国際特許分類】

A 6 1 B	6/00	(2006.01)
G 0 1 T	1/00	(2006.01)
G 0 1 T	1/20	(2006.01)
G 0 3 B	42/02	(2006.01)
H 0 4 N	5/335	(2006.01)

【F I】

A 6 1 B	6/00	3 3 3
A 6 1 B	6/00	3 0 0 S
G 0 1 T	1/00	B
G 0 1 T	1/20	E
G 0 1 T	1/20	J
G 0 3 B	42/02	B
H 0 4 N	5/335	A
A 6 1 B	6/00	3 5 0 S

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

高速取得手法は一般的には、固体検出器にアーティファクトを生ずる傾向を有する。如何なる画像取得であれ、アーティファクトを最小限にし且つ／又は除去して、画像の診断値の劣化を防がなければならない。これらのアーティファクトにはピクセル・アーティファクト、線アーティファクト及び形状アーティファクトがあるがこれらに限定されない。これらのアーティファクトの原因の例には、遅延、ゲイン・ヒステリシス、及びタイミング・モード変更がある。これらのアーティファクトは、X線画像又はオフセット画像のいずれにも現われる可能性がある。このようなものとして、高速撮像読み取りシナリオは、如何なる画像アーティファクトも混入させずに限界時間を最適化するものでなければならない。

【特許文献1】米国特許第6418189号